

平成30年10月29日

シンポジウム「QZSSが創る新たな不動産登記制度とは？～所有者不明土地問題を解決する地籍制度の創設～」を開催します。

日本土地家屋調査士会連合会

日本土地家屋調査士会連合会（日調連）では、G空間EXPO2018（11/15～17開催）のイベントの一つとして、平成30年11月16日（金）の午前10時30分から午後4時まで、東京・お台場の日本科学未来館において、シンポジウム「QZSSが創る新たな不動産登記制度とは？～所有者不明土地問題を解決する地籍制度の創設～」を開催します。

いよいよサービスが開始された「準天頂衛星みちびき（QZSS）」により高精度で安定した衛星測位サービスを実現するこのQZSSの利用開始により、私たち土地家屋調査士が取り扱う「地籍」や「不動産登記制度」も新たな時代を迎えようとしています。

本シンポジウムは、そのようなQZSSの利用が私たちの暮らしにどのような変化をもたらすかについて、主に不動産登記制度の面から考察し、現在、社会問題となっている所有者不明土地問題を始め、これからの不動産登記制度や地籍情報の在り方について考えることを目的としています。加えて、午前中には、QZSSの信号を受信する受信機の最新情報を各メーカーからご紹介いただきます（展示もあり）ので、気になるキーワードがありましたら、是非ご参加ください！お待ちしております。

※ここでいう「地籍」とは人と土地の間にある全ての情報を指しています。

#### キーワード

「G空間社会」「QZSS受信機」「不動産登記」「オープンデータ化」  
「所有者不明土地」「地籍」「GIS」「準天頂衛星」「標準化」「共有化」「一元化」  
「精密測位」「地図」「共有地」「変則型登記」「権利・制限・責任」

出演者（敬称略）

※申込み不要 入場無料

QZSS受信機開発会社各社（7社予定）

海津 優（JFS第7分科会代表者）

浅里 幸起（SPAC事業推進本部技術開発部長）

江口 幹太（法務省民事局民事第二課地図企画官）

鈴木 泰介（土地家屋調査士、日調連常任理事）

G空間EXPO2018 ウェブサイト

<http://www.g-expo.jp/>

<本件に関するお問合せ先>

日本土地家屋調査士会連合会 事務局

堀江（ほりえ）

電話 03（3292）0050

メール rengokai@chosashi.or.jp